

2020年 8月

2020年度

四万十町地域イノベーター養成講座

第二回 自分のアイデアを磨く

ビジュアルレポート

高知大学 地域協働学部
コミュニティデザイン研究室

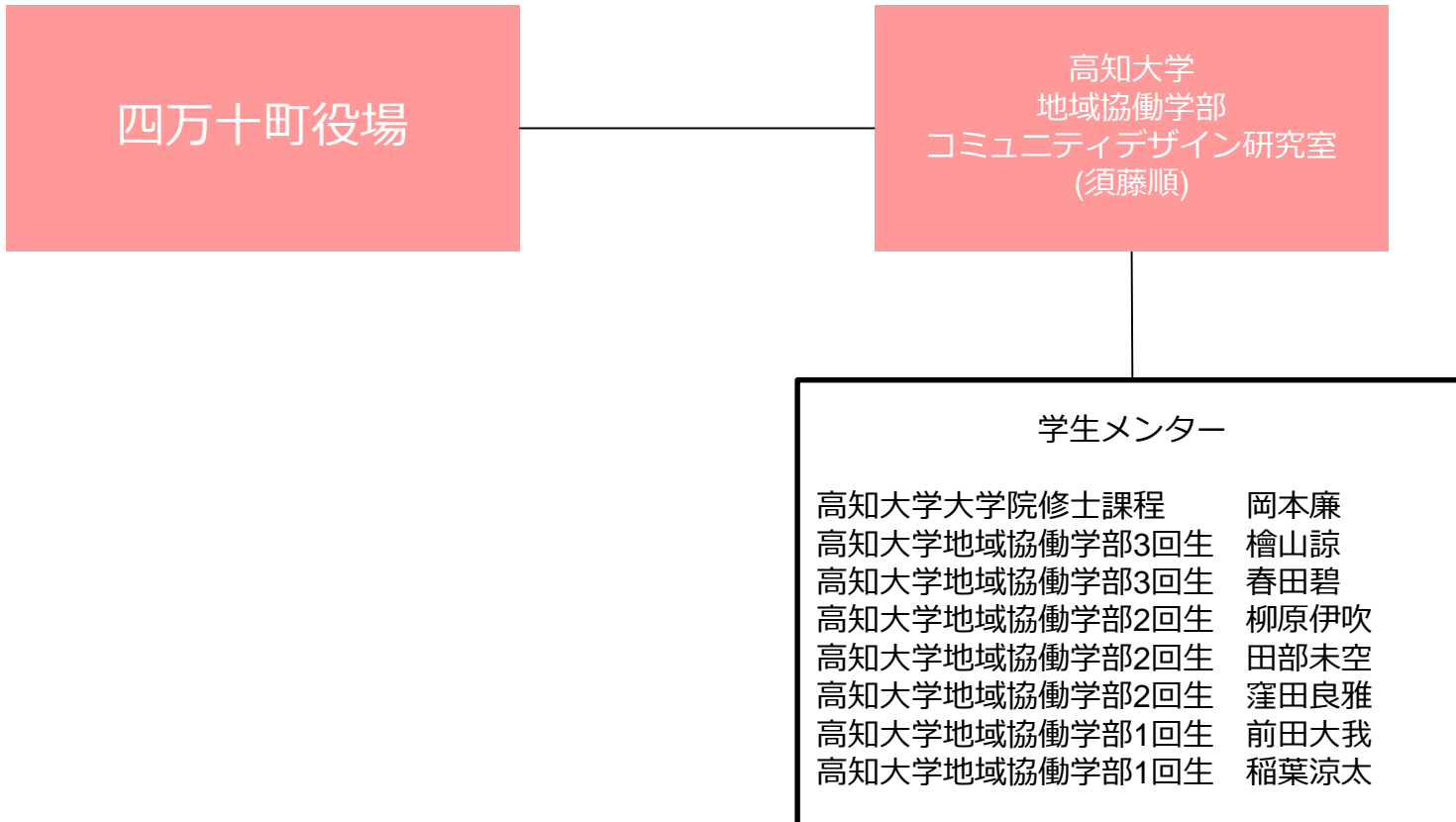
実施概要

- 日 時：令和2年8月29日（土） 13時00分～17時00分
- 会 場：高知県高岡郡四万十町榊山町 3-7
- 主 催：四万十町・高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室
- 実施内容：地域のために何かしたい」「起業をしてみたいけど、まだ勇気がない」「何をして良いのかわからない」そういった方々を対象に全6回の地域イノベーター養成講座を開催。
一人一人が自分ごととして、地域課題解決や活性化を目指す「チャレンジする人材」の学びの場。

【タイムライン】

Time	Theme
13:00-13:20	オープニング&チェックイン
13:20-14:20	キーノートスピーチ 小笠原 舞氏（合同会社こどもみらい探求者 共同代表/asobi基地代表）
14:30-15:30	マイプロジェクトme編ワーク
15:30-16:50	レゴ®シリアスプレイ®ワーク（チーミング）
16:50-17:00	今後の進め方&チェックアウト&リフレクションシート記入

実施体制



何か一歩でも、半歩でも前に進みたい、あなたへ。



Regional Innovator Training Course

令和2年度 第4期生募集

地域イノベーター養成講座

【計6回】 講座スケジュールおよび内容（時間は全て13時から17時を予定しています）

<p>第1回 8/1(土)</p>	<p>「自分を振り返ったり、自分のやりたいことを考える」</p> <p>【ゲスト講師】馬場 加奈子 生命保険会社勤務などを経て、2011年に制服のリユースショップである「さくらや」を香川県で開業。現在では全国に40店舗以上のフランチャイズ店が誕生。2013年株式会社サンクランド設立し、「地域を繋げていきたい」という思いから地域貢献活動にも積極的。学校のバザーに参加したり、地域の人をつなぐスペース「otonari（おとなり）」はコミュニケーションの場として活躍している。全国商工会議所連合会の18年度女性起業家大賞受賞歴も多数あり、テレビや新聞などの多くのメディアにも取り上げられている。</p>	
<p>第2回 8/29(土)</p>	<p>「自分のアイデアを描く」</p> <p>【ゲスト講師】小笠原 舞（保育士起業家 / 合同会社こどもみらい探求社 共同代表 / asobi基地 代表） 「誰もが幸せに生かれる社会・差別のない世界はどうつくるのだろうか？」とふと中学生の時に思ったことから、福祉分野に興味を持つ。大学で福祉を学んだ後、一般企業での仕事をを経て、保育士に。2012年には子育てコミュニティ「asobi基地」、2013年には「こどもみらい探求社」を設立。子育て・保育の専門家として、数多くの親子・家族に関わる。2015年に「保育マーク」を生み出した。プライベートでは、2016年に神戸市に移住し、現在は神戸市長田区の丁寧情緒と多様性あふれる街でもうすぐ2才になるわんぱく息子育てながら、自らの世界を広げている。</p>	
<p>第3回 9/26(土)</p>	<p>「アイデアを創造する（形にする）」</p> <p>【ゲスト講師】石井 重成 国際基督教大学を卒業後、経営コンサルティング会社勤務を経て、東日本大震災を機に岩手県釜石市へ移住。地方創生の戦略立案や官民パートナーシップを統括。半官半民の地域コーディネーター機関の創設、グローバル金融機関と連携した高校生キャリア教育、広域連携による移住・創業支援、ローカルSDGsなど、人口減少時代の持続可能なまちづくりを推進。釜石市オープンシティ推進室長、総務省地域情報化アドバイザー、内閣官房シェアリングエコノミー伝道師、青森大学客員准教授、一般社団法人地域・人材共創機構代表理事。</p>	
<p>第4回 10/31(土)</p>	<p>「アイデアを検証する」</p> <p>【ゲスト講師】漆畑 宗介 家庭医専門医、コミュニティドクター。東日本大震災では大学で復興支援団体を立ち上げ、泥かきや物産展の運営などを行う。大学卒業後、勉強のため東京の病院に就職。病気だけでなく、患者の生活、家族、地域まで診る家庭医療に興味を持ち研修医を経て2019年に家庭医療専門医を取得。また好きな地域活動を仕事として行えるよう、病院と相談しコミュニティドクターを名乗り活動開始。また大の秋田好きで、月に1回県内の病院に勤務しつつ、地域の朝市で農家のお婆ちゃん達に混ざり健康相談会を行ったりと、自分の好きな事を仕事とかけ合わせて実現している。</p>	

講座スケジュールおよび内容（時間は全て13時から17時を予定しています）

<p>第5回 11/28(土)</p>	<p>「ビジネスモデルの設計」</p> <p>【ゲスト講師】出田 俊輔 福島県会津若松市生まれ。慶応大学商学部在学中にプラットフォームサービスの立ち上げに参画。東京都千代田区の公共施設をリノベーションし、ベンチャー企業やNPOのシェアオフィス・ビジネス拠点として再生。卒業後、1 B M ビジネスコンサルティング株式会社に入社し、コンサルタントとしてグローバル戦略を担当。その後、ハバタク創を創業し、世界各地の教育機関・企業と連携した高校・大学向けの学習環境デザインや東南アジア圏でのビジネス展開を支援。2014年に秋田県五城目町の山合いをを経て、旧馬場小学校の五城目町地域活性化支援センター内に新拠点を設立し同町に移住。地域資源を活用したビジネス開発や教育プログラム開発を進めており、目指すは「世界—こどもが育つまち」である。</p>	
<p>第6回 12/19(土)</p>	<p>「学んだことや自分が考えたアイデアを発表する」</p> <p>これまで、そしてこれからの自分のプロジェクトを発表！</p>	

募集要項

四十万町では、何かを自分で始めたい方や地域の課題にチャレンジしたい方などを対象に、仲間づくりと学びの場を提供することを目的に地域イノベーター養成講座（全6回の連続講座）を開講しています。やりたいプロジェクトがある方はもちろんですが、まだやりたいことがない方や色々なことを学んでみたい方も受講できますので、お気軽にご応募ください。

- 【募集人員】 10名程度を予定
- 【受講料】 ① 町内に住所がある方 … 5,000円 ② 町外に住所がある方 … 10,000円
- 【講師】 高知大学 地域協創学部 須藤 順 先生
- 【応募書類】 右下のQRコードの応募フォームからご応募していただくか、エントリーシートに必要事項を記入して、下記のいずれかの方法でご応募ください。
 - ① 持参する場合は、人材育成推進センター、もしくは各地域振興局に **7月25日(土)**までに提出してください。
 - ② 郵送、メール、もしくはFAXで人材育成推進センターまでお送りください。なお、エントリーシートは、四十万町ホームページからもダウンロードできます。
- 【受講資格】 四十万町で活動する意思のある方、並びに、四十万町の資源を活用して活動する意思のある方で、原則として、全講座に参加できる方を対象としています。
- 【受講料納付方法】 受講料は、第1回目の講座の時にご持参ください。
- 【その他】 講座内容や開催場所（四十万町内）等の詳細については、受講生の方に通知いたします。

（注意）

名前の他に、具体的なアクション（調査など）を行っていただくことに加え、事務局および運営チームとの相談会を遠慮なく、プロジェクトの実現に向けたサポートを行います。

事務局：四十万町役場人材育成推進センター（担当 植山 光一）
〒786-8501 高知県高岡郡四十万町榊山町3番7号
TEL 0880-22-3163 FAX 0880-22-3345
E-mail 103060@town.shimanto.lg.jp



応募フォーム

（キリトリ線）

地域イノベーター養成講座 エントリーシート

お名前					職業			
フリガナ					性別	男・女	年齢	歳
メールアドレス					電話番号			
住所								
<p>あなたが現地点で思い描いているプロジェクトや、四十万町でやってみたいことなどを記入ください。</p>								

本講座のねらい・ゴール

Idea



**1人ひとりが自分事として、
地域課題解決や活性化を目指す
「チャレンジする人材」の学びの場**

A piece of white paper is torn and placed on a brown, textured background. The paper is torn along its top and bottom edges, and a vertical crease runs down its center. The text "find your passion!" is printed in a bold, black, sans-serif font on the left side of the white paper. The background is a solid, light brown color with a subtle, repeating pattern of horizontal lines.

find your passion!



LEARNING BY DOING

A roll of brown paper is shown on the left side of the image, partially unrolled. A horizontal tear in the paper reveals a white surface underneath. On this white surface, the words "BE YOURSELF!" are printed in a bold, black, serif font. The background of the entire image is a textured, light brown paper.

BE YOURSELF!

場のルール

- 1 安心・安全の場をみんなで創ろう
- 2 ありのままの自分を素直に出そう
- 3 仲間・プロジェクトを評価しない
- 4 プロジェクトは変わってOK
- 5 お互いに貢献し合う



マイプロジェクトとは、
自分に基づいた (My)

「何かを、プロジェクトの形にして (Project) やってみる」

ことから始まる、

自分や世の中の変化の物語

マイプロで活用するシート


マイプロ Me編	名前 (ニックネーム、読んでほしい名前、その由来)	作成日: 場所:
似顔絵・写真	みんなが知らない自己紹介	
自分ストーリー 昔 (~小学校)	人生グラフ:横軸は年で、縦軸はイキイキ度(幸せ度)。人生で輝いていた時、読んでいた時を見える化しよう!	
(~中学・高校)	みんなが知らない自慢・一発芸・得意技	
(~専門・大学)		
(~現在)		
今		
マイプロジェクトの源泉へ		

← me編シート

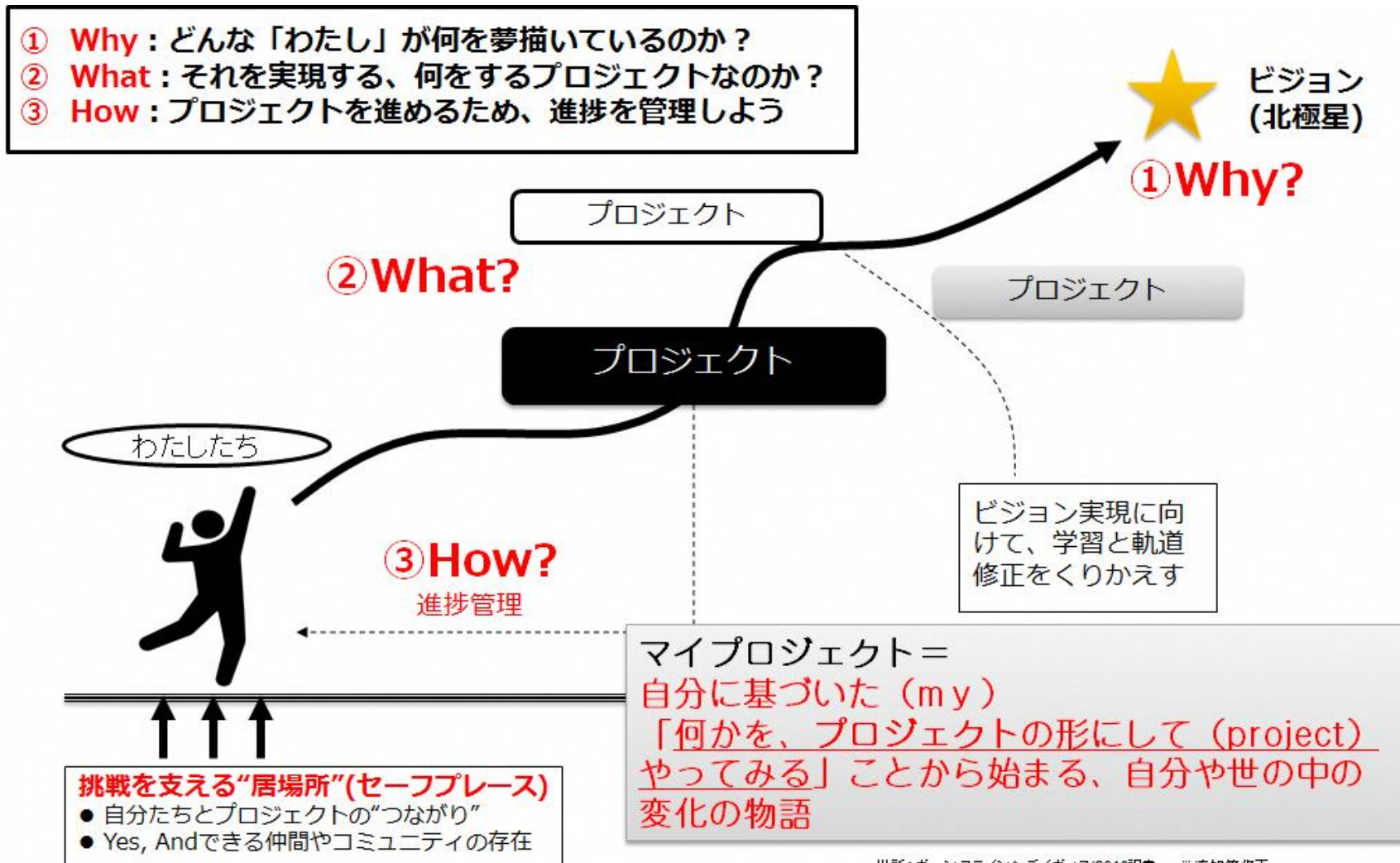
- ・自分のライフヒストリーや好きだったこと、楽しかったこと、つらかったことなど
- ・自分の人生をグラフにしてみる
- ・普段見せない自己紹介

project編シート→

- ・自分と紐づいたプロジェクトを書き出す
- ・それは誰にどんな価値を生み出すのか

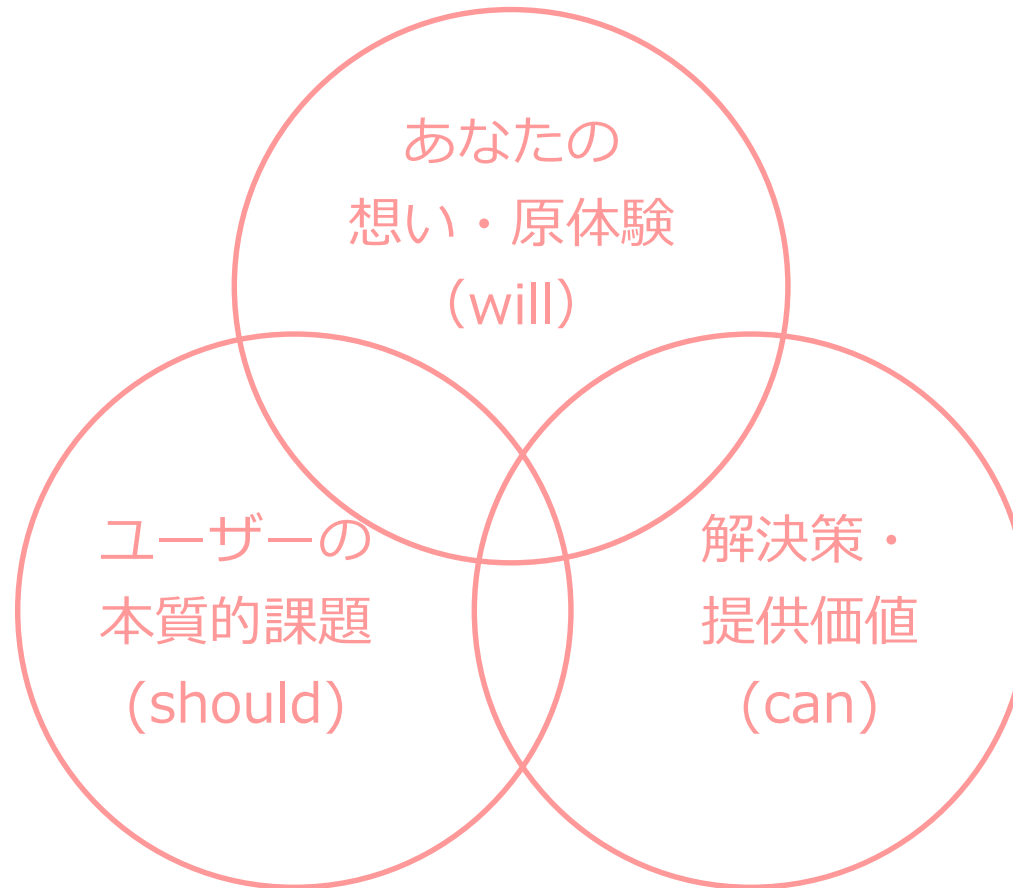
PROJECT編	
わたしのプロジェクト(マイプロジェクト)を一言で!	
■実践したいプロジェクトの概要	
 	
■「やってみたい!」と思った、理由や背景、原体験	■「誰」にどんな価値を生み出しますか?

マイプロが目指すイメージ



出所: ボーンSTEIN& デイヴィス(2010)訳書, p.104 滝加単修正
 ※ 井上英文作成

ポイント：徹底して自分のwillに向き合う



講座の様子



キーノートスピーチ

キーノートスピーチとして、小笠原 舞さん(合同会社こどもみらい探求社 共同代表)から、ご自身のライフストーリーに絡めながら、こどもみらい探求社・asobi基地の取り組みやこれまでの活動の背景にある考えや価値観についてお話しいただいた。

学生時代のことや、保育や子どもに携わるまでの想いや原体験、さらに、「地域」に対して教育を広めるためにどのようなアクションを行っているかなど、実体験に基づいた話に、受講生は真剣に耳を傾けていた。また、質疑では受講生が活動で悩んでいることをどのように解決してきたのかなど、活発なやり取りが見られた。



キーノートスピーチの会場風景



受講生の様子



キーノートスピーチの様子



真剣に聞き入る受講生



質問をする受講生



質問する受講生

マイプロジェクトワーク

続いて、マイプロジェクトワークを実施した。前回講座・メンタリングを通してブラッシュアップしたマイプロシートを使い、受講生が学生メンターとこれから取り組みたいプロジェクトや現在の状況について共有し、相互にフィードバックを行った。プロジェクトの進行具合は個人によって違っているが、お互いが現在行っている取り組みを共有し、支え合う関係が構築されてきたことで、双方のモチベーション向上に繋がる時間となった。なお、テーブルコーディネートは学生メンターが行った。



グループに分かれてマイプロを共有



お互いの話に真剣に聞き入る様子



マイプロをグループへ報告



会場の風景



相互にフィードバック



オンライン参加の学生とマイプロを共有

レゴ®シリアスプレイ®ワーク

最後に、チームビルディングとそれぞれの内省を目的に、レゴ®シリアスプレイ®ワーク (LSP) を実施した。受講生と学生メンターがグループに分かれ、「あなたがワクワクすること」「自分らしさ」「あなたのプロジェクトで譲れない事」をテーマに、作品を作り、ストーリーを語り合った。

なお今回も、各班にオンラインで参加した学生メンターがいたため、リアルセッションとオンラインセッションを組み合わせた形で実施した。



レゴブロックで作品を作っている様子



テーマを表現した作品



オンライン上の学生にストーリーを共有



グループ内で対話する様子

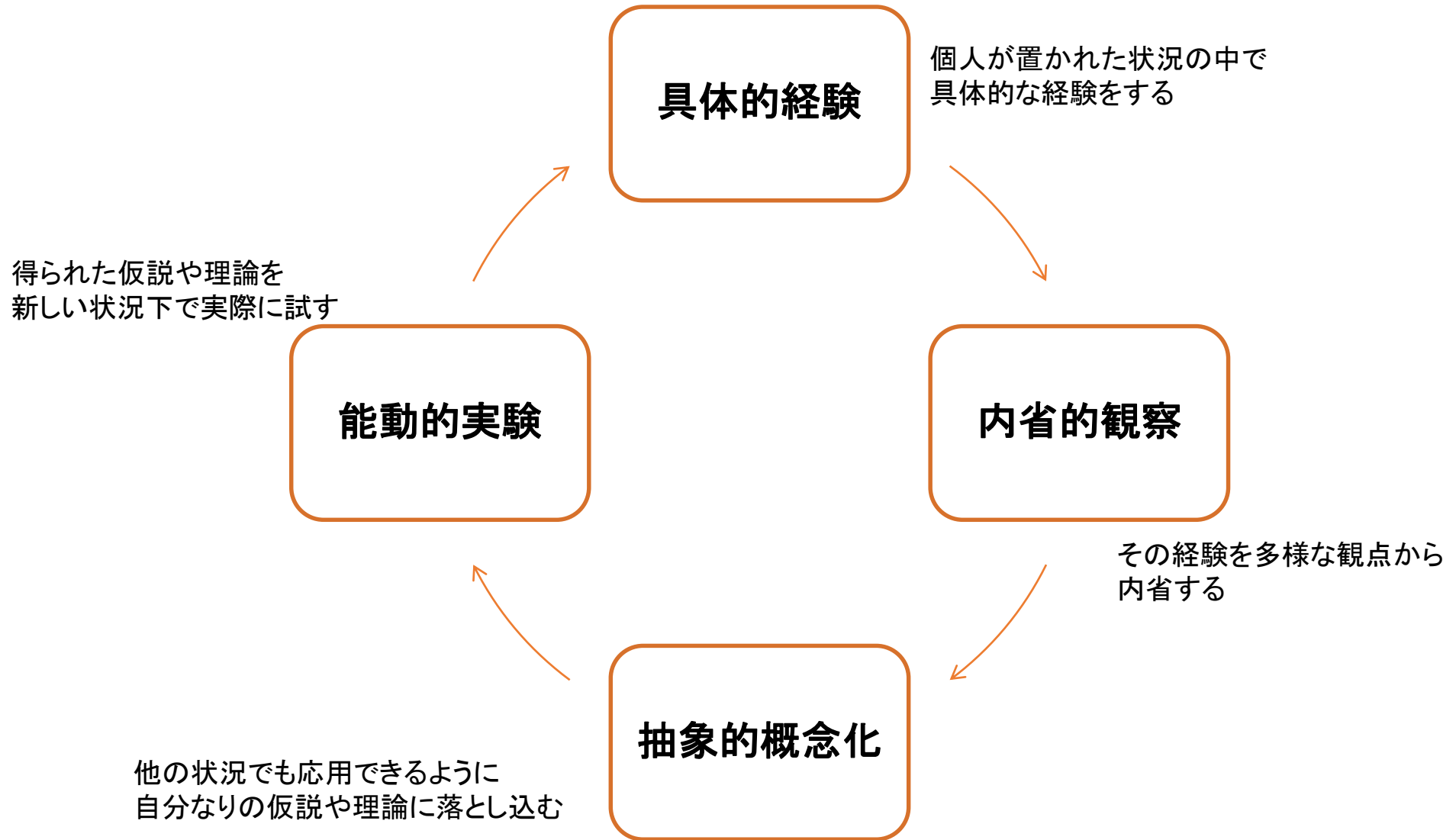


自分の作品について語る様子



自分の作品についてグループで共有

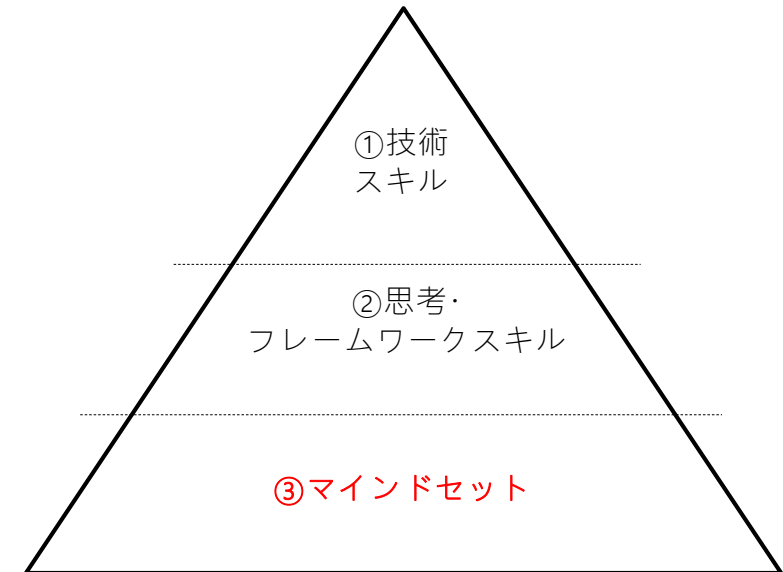
[インプット資料参考]
経験学習サイクル



グロースマインドセット

■マインドセットとは・・・

- マインドセットとは、**経験、教育、先入観**などから形成される**思考様式、心理状態**。**暗黙の了解事項、思い込み（パラダイム）、価値観、信念**などがこれに含まれる
- マインドセットという言い方は、人の意識や心理状態は**一面的な**とらえ方はできず、**多面的**に見てセットしたものが**マインドの全体像**を表しているということから来ている



■固定マインドセットと成長マインドセット

- 弱みを克服できる人は、**拡張的知能観（Growth-mindset）**を持つ
- これに対して、弱さを抱え続ける人は、**固定的知能観（fixed-mindset）**に支配されている

[インプット資料参考]

グロースマインドセット

■固定マインドセットと成長マインドセット

固定マインドセット

成長マインドセット

Avoids 避ける	挑戦	Embraces 受け入れる
Loses Focus あきらめる	障害	Persists 乗り越えるまでやる
Views as Fruitless 無駄に見える	努力	No pain, No gain 痛みなしに成長はない
Ignores 無視する	批評	Learns from 批評から学ぶ
Views as Threat 脅威に見える	他者の成功	Be Inspired By 刺激を受ける

マイプロの進め方

① マイプロシート(me&pjt編)をみんなの前でシェア



② みんなからフィードバック



③ プレゼントカードを書いて渡す



④ アクションを試してみる

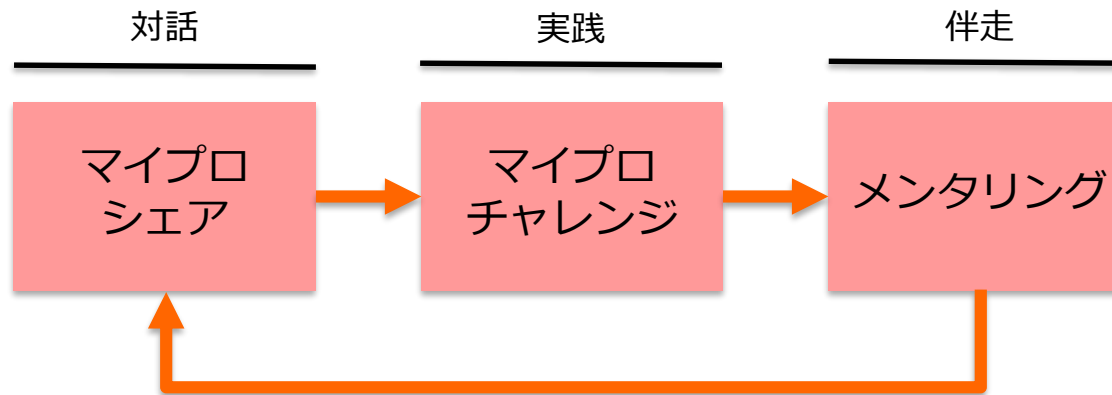


⑤ 気づきを踏まえてシートを書き換える



※みんなで支え合いながら、
このサイクルを超高速で回していく

四万十町地域イノベーター養成講座のプロセス



- 四万十町地域イノベーター養成講座は、誰かが知識や方法論を教えるのではなく、受講生一人ひとりと大学生メンターと一緒にマイプロジェクトを進め、喜びや悩み、想いを共有しながら一歩ずつ前に進んでいくことを目指します。
- 対話を通じて一人ひとりのマイプロを共有し、一人ひとりが小さな実践を行い、それを受講生と大学生が相互にメンタリング(オンライン)を行いながら、「本当に自分がやりたいこと」に取り組んでいきます。
- こうしたプロセスを通じて「ジブンゴトをミンナゴト」にしていくための一人ひとりに法則を見つけ出していきます。
- 地域にイノベーションを起こすためには知識や方法論、メソッドはもちろん、本当に自分がやりたいこと、気になることを、仲間とともに小さな一歩を進めることから始まる、というのが私たちの基本的な考えとして講座を進めていきます。

各回の進め方の基本イメージ

オリエンテーション&チェックイン：講座のゴールと今日の意気込みを共有



インプットワーク：講師やゲストからの話題提供&基礎知識の紹介



マイプロジェクトワーク：マイプロジェクトシートを使って対話&発表



アクション設定ワーク：次回までの各自のアクションの設定



まとめ：講座のまとめと次回までの課題の共有

※課題では、プロジェクトのアクションに加え、モーニングノートなどにも取り組んでいます。

※受講生と学生メンター、事務局、講師が参加する非公開SNSグループでそれぞれのアクションや情報共有を別途実施。

問い合わせ先

担当：四万十町役場人材育成推進センター 主幹 横山 光一
〒786-0008 高知県高岡郡四万十町榊山町3番7号
TEL 088-022-3163 FAX 088-022-3123
E-mail 103060@town.shimanto.lg.jp

高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室(須藤順研究室)
担当：准教授 須藤 順
〒780-8520 高知県高知市曙町2-5-1総合研究棟1階
TEL 088-788-8077 FAX 088-888-8043
E-mail j.suto@kochi-u.ac.jp
Web <http://www.communitydesign-kochi.jp/>

※本講座に関する問い合わせは上記までお願いいたします。

※本資料の無断での配布、外部組織や個人への配布・閲覧、及び二次使用は、固く禁止させていただきます。